PC 同好会

幹事　緑川 斐雄

　これまで PC 同好会はその活動内容を HP 上に公開しておりませんでしたが概要は報告すべきであろうとのご意見も頂いたことから本年度より活動しているテーマとその概要をお知らせしてゆくことといたします。
　登録メンバーはこれまでも１３名ですが、テーマに沿ったテキストをメールでお届けるほかオンライン会合で補足説明や意見交換を行っておりますが、スマホ中心の利用者は会合への出席が難しいことも現実になっております。

　PC を取り巻く **I T** の環境は日々進展しておりますので面接での意見交換は大切なスキルアップ手段と考え、なるべく多くの方の参加を期待してゆきたいと考えております。期中であっても興味のある方はどうぞ参加のご検討をお願いしたいと思います。なお年間のテーマについては総会議案書の同好会の項に詳しく掲載しておりますのでこちらをご参照ください。

R5-01 チャット BOT（第 1 回開催 R5.5.25 参加８名）

　表題としてチャット BOT としましたが、一般的には「対話型 AI 」と呼ばれます。その代表的と言うか最初に公開されたのが chat GPT です。すぐに様々な企業から同様な仕組みが発表されているため少々混乱気味ですが、我々としては正しい知識で利用方法を身に着けたいと考えて本資料を提供させていただきます。

１　対話型 A I とは何？

　対話型 AI（Conversational AI）とは、人とコンピューターとの会話を、より人同士の会話に近いものにするための技術です。人があらかじめ質問を予測して回答例を覚えさせるのではなく、AI が人の質問に対し自動で回答を行うため、より自然な会話が実現します。

２　対話型 A I の具体的な提供先

① Chat GPT：ChatGPT （英語: Chat Generative Pre-trained Transformer）は、OpenAI が 2022 年 11 月に公開した人工知能チャットボット。

② Bard：Bard（バード）は Google が開発･提供している会話型人工知能。2023 年 5 月に同社より発表された大規模言語モデル「PaLM2」を活用して製作された。

③ Copilot：マイクロソフトは今年３月、事務作業を補佐してくれるという意味を込めて英語で「Copilot」（コパイロット）、日本語で「副操縦士」と名付けた対話式 AI の新たなサービスを発表した。

３　試しに使ってみる

どんなものかを試しに使ってみます。
公式サイト https://openai.com/blog/chatgpt を開くと「チャット GPT をお試しください」とあるのでここをクリックして登録します（メールアドレス、パスワード、氏名、生年月日、電話番号（携帯電話が適当）、を入力すると先ず登録したメールアドレスに確認メールが入り次に本人確認番号が携帯電話のショートメールで届くのでこれを入れるとすぐに利用可能となります。

4　どんな利用がベターか

　今日では Web 上に様々な情報が公開されており、ホームページやブログ、YouTubu、Instagram や各種 SNS などの無限ともいえる情報を AI が整理して人が書いたような文章としてまとめることが出来るため「本当に個人の意見かどうか？本人の書いたものかどうか？」など判別が難しい現象も生ずることがあります。特に学校関係者は AI に頼ったものか？　学習意欲が削減される、など懸念の意見も多いのが実態ですが、行政や企業では業務効率が劇的に削減可能となりうるなどの意見と見解が分かれた状況にあります。